

会議の要旨（議事録）

会議の名称	第42回鳥栖市地域公共交通会議		
開催日時	令和5年6月29日（木） 10:30～	開催場所	市役所3階大会議室1・2
出席者数	22人	傍聴人数	0人
議 題	<p>議案第1号 議長の選出【承認】</p> <p>議案第2号 令和5年度路線バス及びミニバス等に関する事業計画について（案）【承認】</p> <p>議案第3号 令和6年度鳥栖市地域内フィーダー系統確保維持計画について（案）【承認】</p>		
配布資料	<ul style="list-style-type: none"> ・次第 ・委員名簿 ・座席表 ・鳥栖市バスマップ ・鳥栖市地域公共交通会議設置要綱 議案第2号 令和5年度路線バス及びミニバス等に関する事業計画について（案） 議案第3号 令和6年度鳥栖市地域内フィーダー系統確保維持計画について（案） ・資料1 路線バス及び鳥栖市ミニバスの利用状況について ・資料2 鳥栖市ミニバス田代地区循環線JAうちの畑前バス停の移設について ・資料3 鳥栖市ミニバス基里地区循環線うぐめだ橋バス停の移設について ・資料4 麓まちづくり推進センターの改修工事に伴う鳥栖市ミニバス旭地区循環線「麓まちづくり推進センター」バス停の移設及び走行ルート変更について ・資料5 鳥栖市ミニバス運行ルート変更後の利用状況について 鳥栖市ミニバス乗降者数 ・資料6 鳥栖市地域公共交通計画の策定について 		
所 管 課	（課名）国道・交通対策課 （電話番号）85-3602		

協 議 （ 議 事 ） 録

議 題	第 42 回鳥栖市地域公共交通会議
日 時	令和 5 年 6 月 29 日（木） 10 時 30 分～12 時 00 分
場 所	3 階大会議室 1・2
出席者	<委員> 松永委員、向門委員、中野委員、野崎委員、齊藤委員、篠倉委員（代理）、平井委員、大石（豪）委員、中村(千)委員、肥山委員、大石(良)委員、小石委員、中村(慎)委員、宮崎委員、中島委員、緒方委員、坂井委員、古賀委員 <事務局> 国道・交通対策課 4 人

《結果》

議案第 1 号 議長の選出【承認】

議案第 2 号 令和 5 年度路線バス及びミニバス等に関する事業計画について（案）【承認】

議案第 3 号 令和 6 年度鳥栖市地域内フィーダー系統確保維持計画について（案）【承認】

《意見等》

議案第 2 号 令和 5 年度路線バス及びミニバス等に関する事業計画について（案）

委 員：ミニバス乗車体験会の実施について、県内他市町の事例があるため、参考にしながら、実施に向けて協力させていただきたい。

事務局：先進事例等を参考にしながら、よりよい乗車体験会となるよう取り組んでまいりたい。御協力よろしく願いいたします。

議案第 3 号 令和 6 年度鳥栖市地域内フィーダー系統確保維持計画について（案）

委 員：事業の目標の「R 5 目標」についてはまだ始まったばかりだが、今のところの状況が分かればお伺いしたい。

事務局：まず目標①の高齢者福祉乗車券の購入者数については、4 月 5 月の購入状況について前年より上回っていると担当課より聞いている。目標②のミニバスの利用者数については、コロナの影響で落ち込んだものの前年より上回っている状況が続いている。目標③の路線バス市内線の年間収支率については、なかなか厳しい状況が続いているのが現状である。

委 員：目標③の路線バス市内線の年間収支率については、現状維持ということで平成 3 0 年の収支率を基に算定されたということだが、これはコロナの影響がないところでという意味合いでいいか。

事務局：おっしゃるとおり、鳥栖市地域公共交通網形成計画を策定したのが、令和元年度のコロナが感染する前であるため、目標値についてはコロナの影響がないものである。コロナを反映していないため、実績値と目標値が乖離していると承知しているが、改善できるよう事業を推進することで、目標値に近づくように考えている。

報告事項

委員：ミニバスについて、いろいろな地区から要望があると思うが、どのような返答をしているか。また高齢者福祉乗車券の購入者数についての目標があるが、この目標達成についてどのようなことを考えているかお伺いしたい。

事務局：まずミニバスに関する要望については、ルートを都度改善するというのは難しいため、令和6年度に策定予定の地域公共交通計画を策定する中で、地域の方にお話を伺う機会や、アンケートを予定している。そういった意見を踏まえながら、持続可能な形での公共交通の実現に繋げていきたい。2点目の高齢者福祉乗車券の購入者数の目標達成については、バスの日イベントでのPRや即売ブース設置による販売促進に努めたい。また、現在路線バスの車内でPRをしていただいたり、当課で発行しているバスマップでもPRするページを設けたりしているため、そういったことで利用促進に努めてまいりたい。

委員：令和3年4月のミニバス運行ルート・ダイヤ変更を行ったのは、地域の住民から要望があったからなのか。ルートの見直しを行った経緯をお伺いしたい。

事務局：ルート見直しを行った経緯について、現在の計画である鳥栖市地域公共交通網形成計画を策定するにあたり、アンケート調査や地区の会議に参加してお話を伺う機会等を設けながら、本市における公共交通の課題を洗い出した。その中で、目標を定め、その施策の一つとしてルートの見直しを掲げている。利用者が想定される部分への延伸や、1便あたりの所要時間短縮を目指して、ルートの変更を行ったところである。

委員：ミニバスについて、利用者の年代別の乗車データはあるか。

事務局：年代別や男女等のデータは無く、人数のデータしか持ち合わせていない。